

【議 題 2】

令和 8 年度 事業計画の検討について

資料の趣旨

- 令和 8 年度に向けて、地域の課題に即した事業展開を進めていくため、各支部では医療費情報や健診情報の分析を行い、事業計画・予算策定の準備を進めております。
本日は福島支部の課題と現時点での素案をお示しし、評議員の皆様からのご意見を伺いたく存じます。
- 今後、協会けんぽ本部から示される予算額と本日いただくご意見を踏まえて策定する事業計画と予算案については、次回1月の評議会でご審議いただく予定としています。

「事業主・被保険者・学識経験者」それぞれのお立場で、次の視点でご意見をいただきたくお願いいたします。

- ・今まで実施してきた事業の継続に対する意見
- ・改善が必要と考えられる事項に対する意見
- ・新たな切り口のご提言



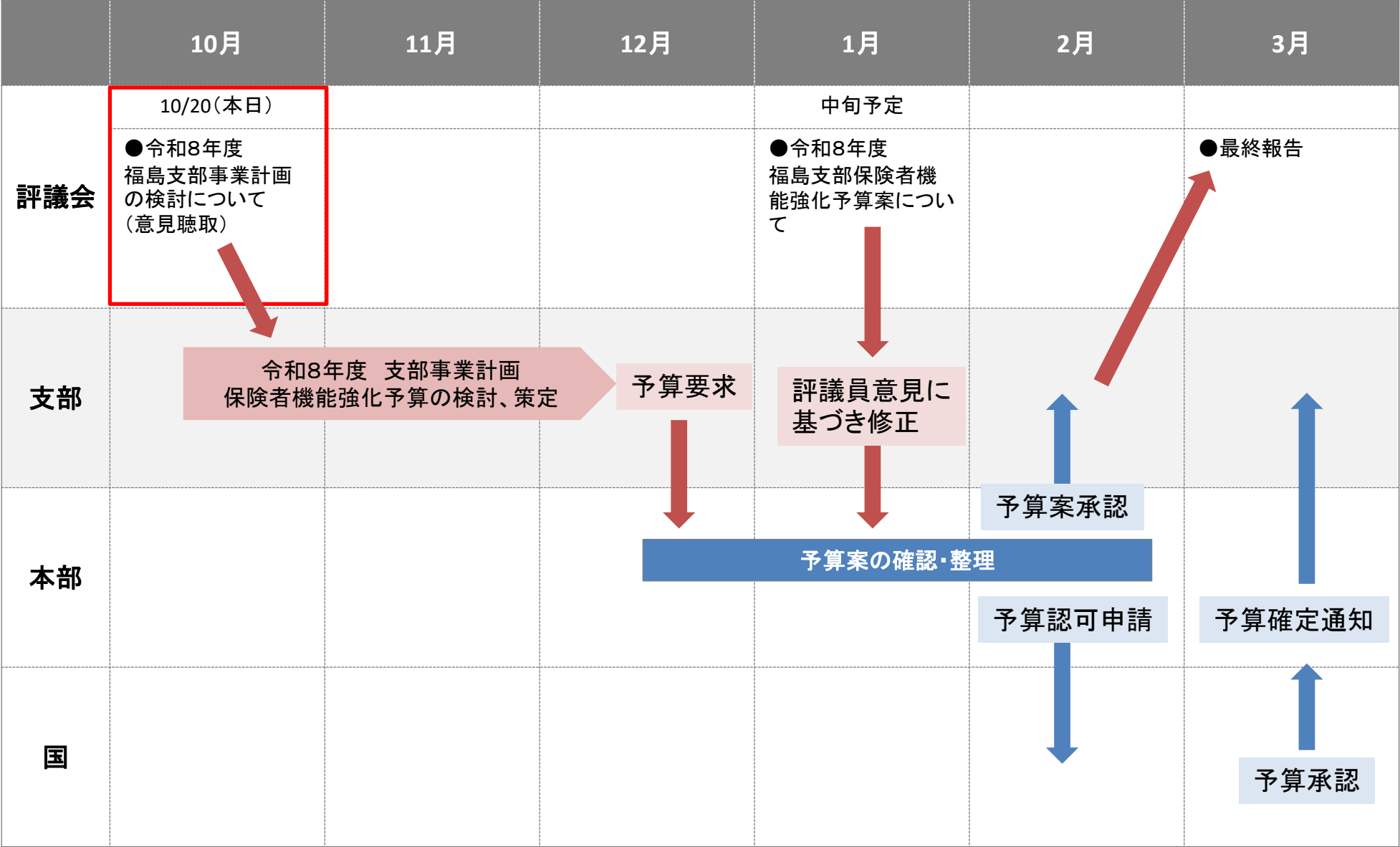
ケンタくん



全国健康保険協会 福島支部
協会けんぽ

協会けんぽ福島支部公式キャラクター

支部事業計画・予算策定、予算認可までのスケジュール

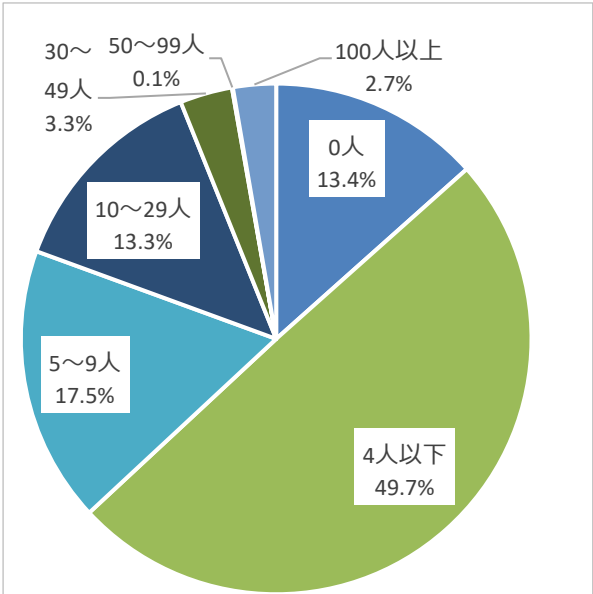


●適用状況について

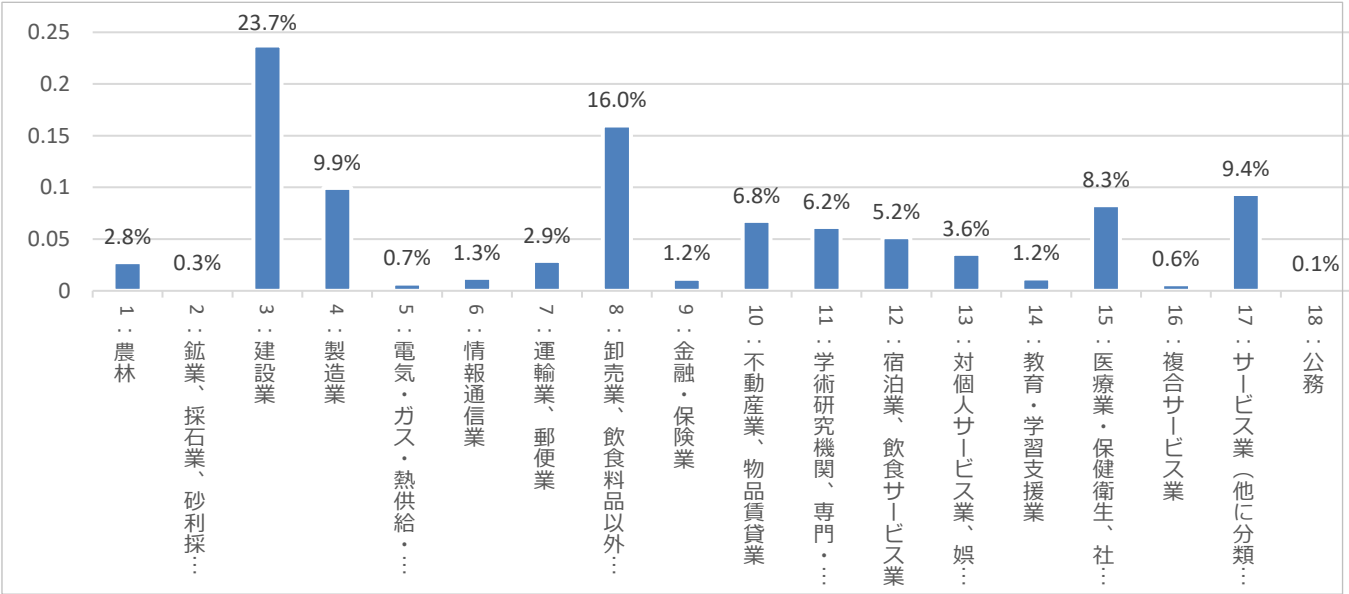
年度末時点

年度	事業所数	加入者数(人)		被保険者数(人)		被扶養者数(人)		扶養率
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	
R3	37,194	652,628		411,520		241,108		0.586
		328,826	328,802	242,063	169,457	86,763	154,345	
R4	37,361	630,744		401,637		229,107		0.570
		319,153	311,591	235,786	165,851	83,367	145,740	
R5	37,745	620,511		400,239		220,272		0.550
		313,278	307,233	232,501	167,738	80,777	139,495	
R6	37,733	609,822		398,994		210,828		0.528
		307,746	302,076	229,551	169,443	78,195	132,633	

■事業所規模別 構成割合 (R6年度末時点)



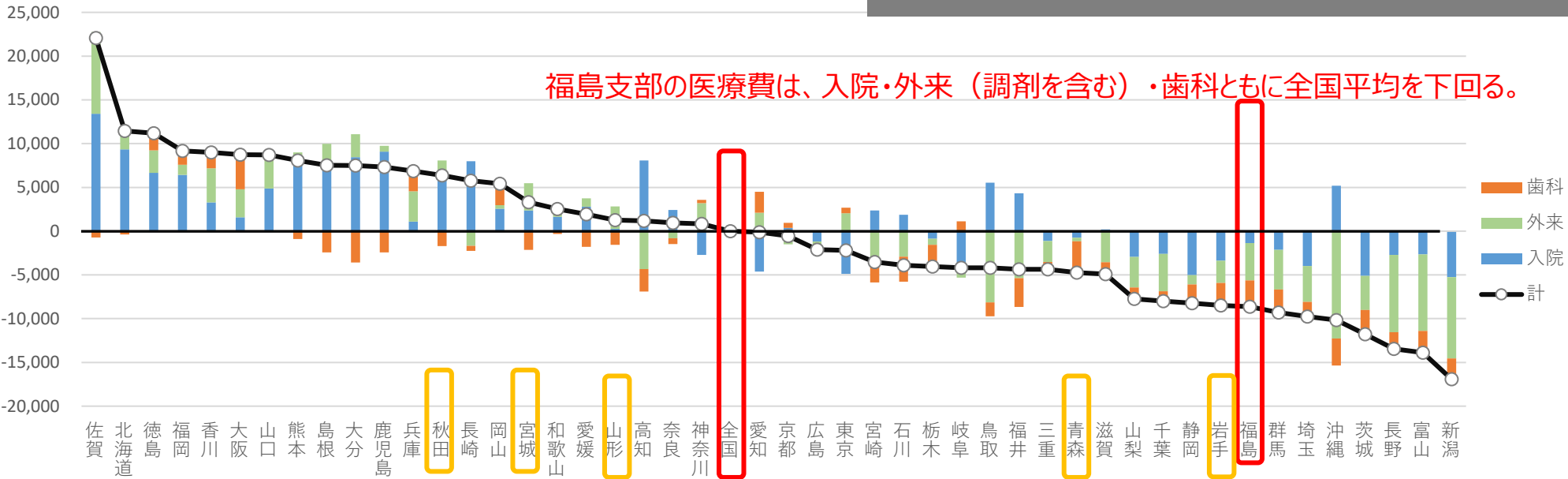
■事業所業態別 構成割合 (R6年度末時点)



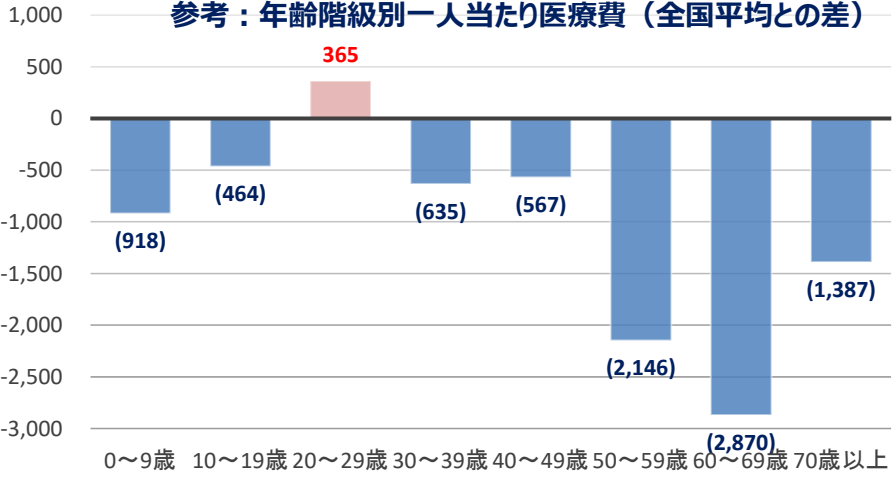
●令和6年度 一人当たり医療費について

一人当たり医療費 全国平均からの乖離

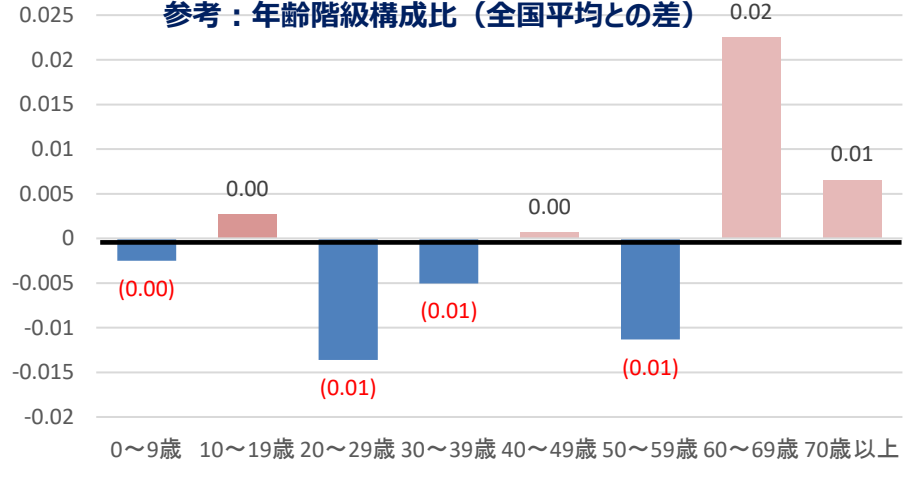
(単位：円)



参考：年齢階級別一人当たり医療費（全国平均との差）



参考：年齢階級構成比（全国平均との差）



一人当たり医療費（入院）の特徴について

■疾病大分類別 福島支部一人当たり療費（入院）

統計年度	感染症及び寄生虫症	① 新生物	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	内分泌、栄養及び代謝疾患	② 精神及び行動の障害
2022	738	13,577	387	918	2,077
2023	748	14,123	550	1,041	2,168
2024	1,002	14,648	608	1,056	2,045

統計年度	神経系の疾患	③ 眼及び付属器の疾患	耳及び乳様突起の疾患	循環器系の疾患	呼吸器系の疾患
2022	2,459	998	198	9,638	1,888
2023	2,727	1,097	205	10,100	2,615
2024	2,621	1,297	267	10,453	3,031

統計年度	消化器系の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	妊娠、分娩及び産じょく
2022	3,882	297	4,195	1,922	2,029
2023	4,041	377	4,494	1,978	2,118
2024	4,270	388	5,088	2,145	1,943

統計年度	周産期に発生した病態	先天奇形、変形及び染色体異常	他に分類されないもの	損傷、中毒及びその他の外因の影響	特殊目的用コード
2022	1,615	1,277	255	3,757	1,660
2023	1,483	1,038	316	4,036	401
2024	1,505	1,157	346	4,305	210

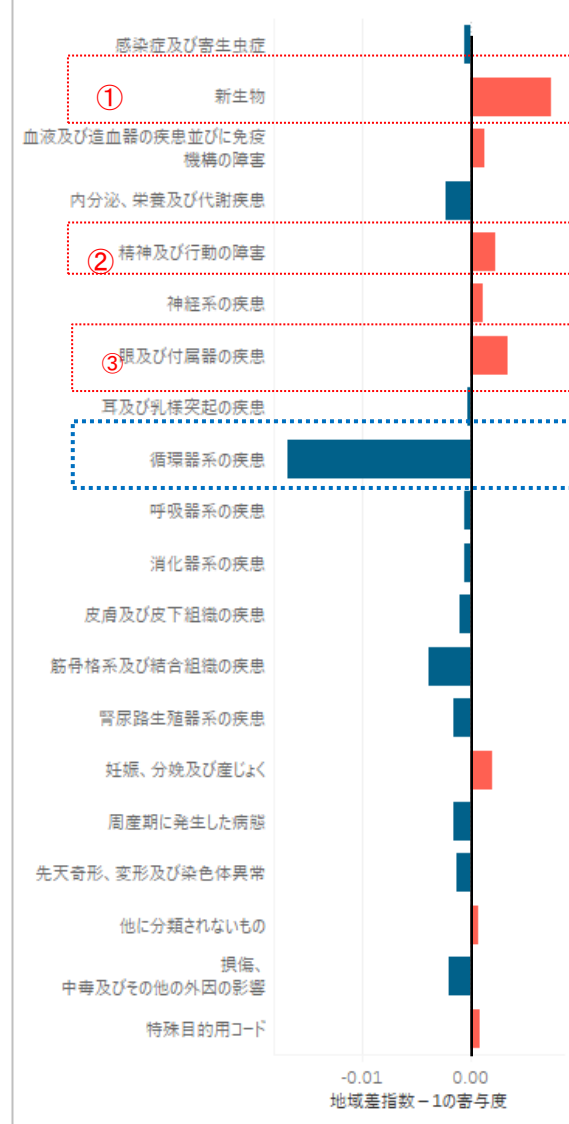
福島支部の入院にかかる医療費の特徴は

【全国平均よりも医療費が**高い**疾病（地域差指数プラス）】

①新生物 > ②眼及び付属期の疾患 > ③精神及び行動の障害

【全国平均よりも医療費が**低い**疾病（地域差指数マイナス）】 循環器系の疾患

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度



一人当たり医療費（入院外）の特徴について

■疾病大分類別 福島支部一人当たり療費（入院外）

統計年度	感染症及び寄生虫症	新生物	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	② 内分泌、栄養及び代謝疾患	③ 精神及び行動の障害
2022	2,952	14,022	2,399	15,535	6,156
2023	2,922	14,595	2,603	15,690	6,178
2024	2,928	14,489	2,706	15,896	6,275

統計年度	神経系の疾患	眼及び付属器の疾患	耳及び乳様突起の疾患	① 循環器系の疾患	呼吸器系の疾患
2022	4,273	4,898	1,114	17,550	15,425
2023	4,375	4,926	1,245	17,422	18,510
2024	4,992	5,106	1,282	17,066	16,708

統計年度	消化器系の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	妊娠、分娩及び産じょく
2022	6,948	6,113	9,360	7,817	225
2023	7,189	6,339	9,258	8,143	213
2024	7,481	6,818	9,254	8,427	188

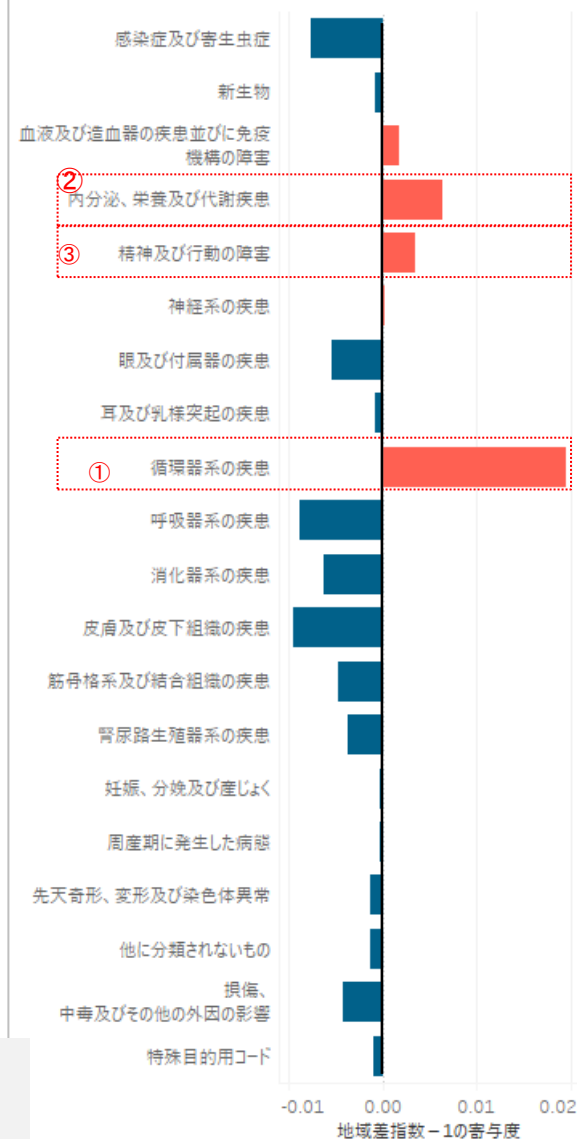
統計年度	周産期に発生した病態	先天奇形、変形及び染色体異常	他に分類されないもの	損傷、中毒及びその他の外因の影響	特殊目的用コード
2022	304	808	2,626	2,538	6,593
2023	251	901	2,466	2,498	2,772
2024	292	932	2,464	2,665	1,332

福島支部の入院外にかかる
医療費の特徴は

【全国平均よりも医療費が**高い**疾病（地域差指数プラス）】

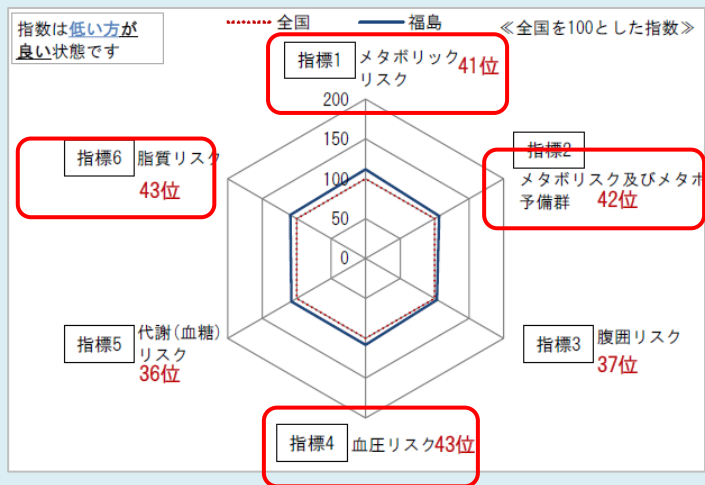
①循環器系の疾患 > ②内分泌、栄養及び代謝疾患 > ③精神及び行動の障害

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数－1の寄与度



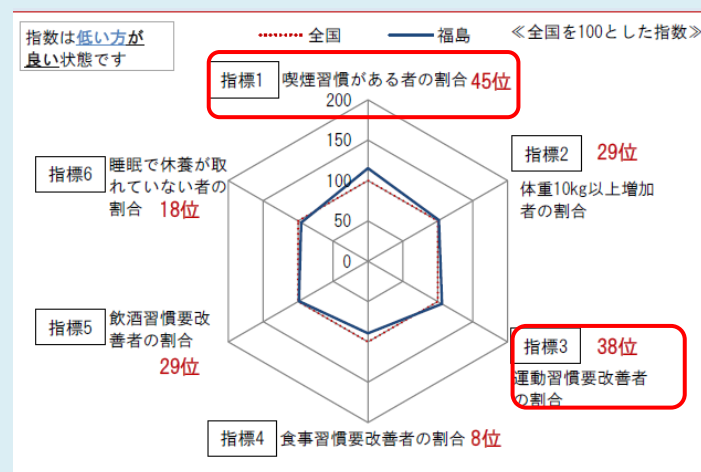
● 令和6年度 健診・問診データに基づく生活習慣病リスク／生活習慣について

■ 生活習慣病リスク保有者の割合



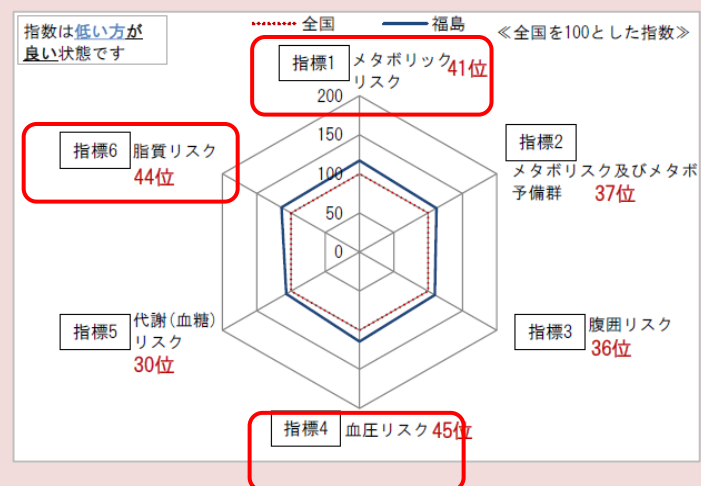
【男性】

■ 生活習慣要改善者の割合



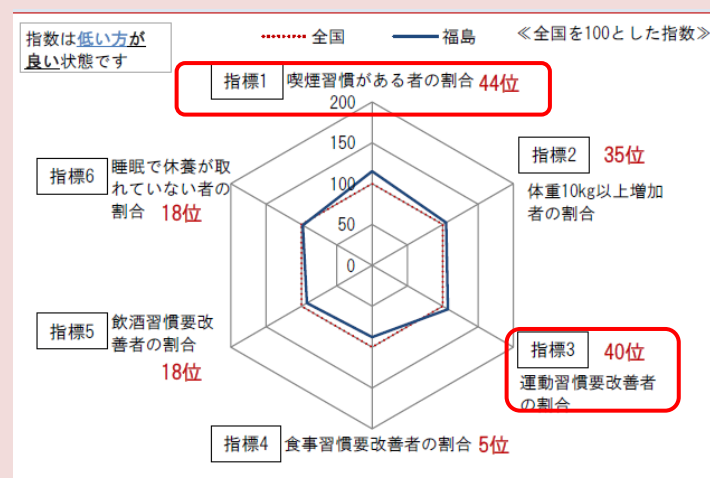
男女ともに、他支部との比較において、生活習慣病リスク保有者の割合が高い項目が多く、経年的な傾向となっている。
また、生活習慣では、喫煙習慣がある者の割合が高い。

■ 生活習慣病リスク保有者の割合



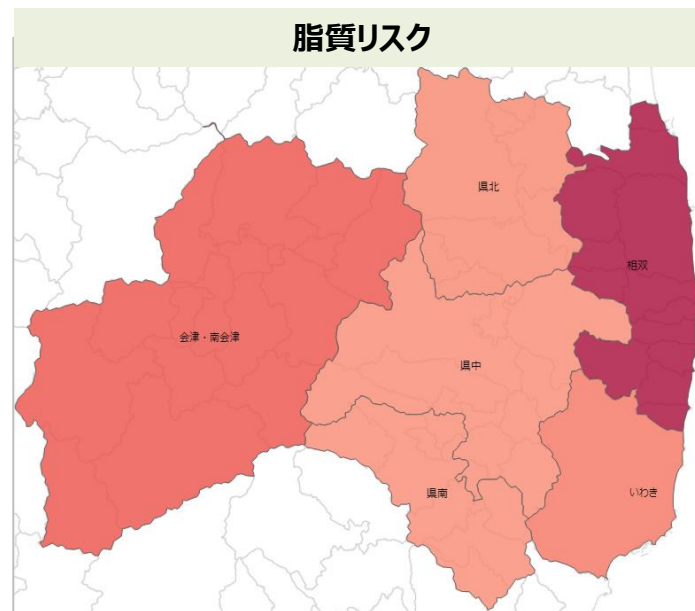
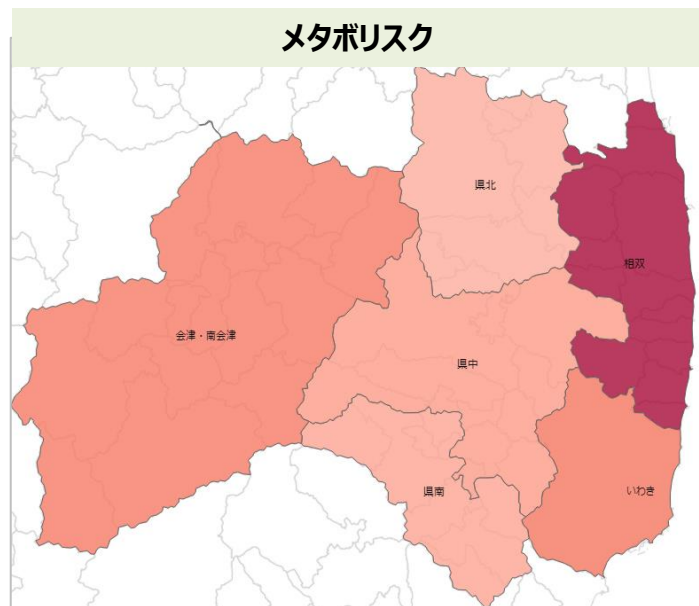
【女性】

■ 生活習慣要改善者の割合

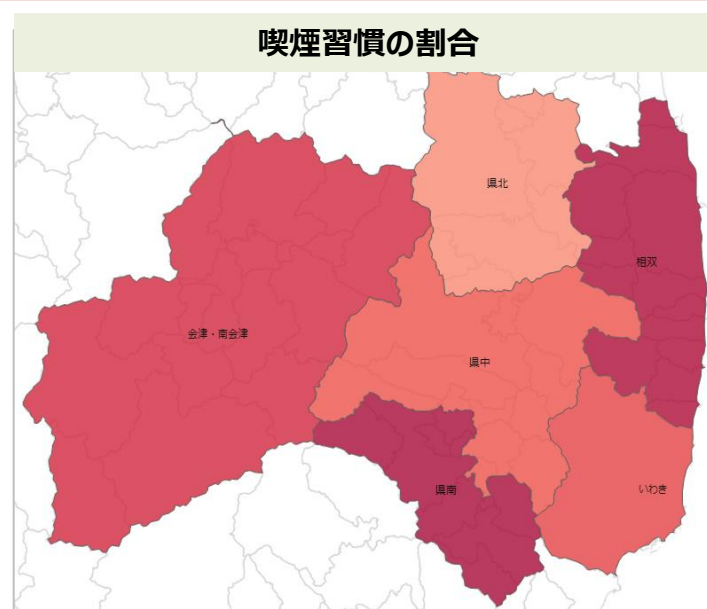
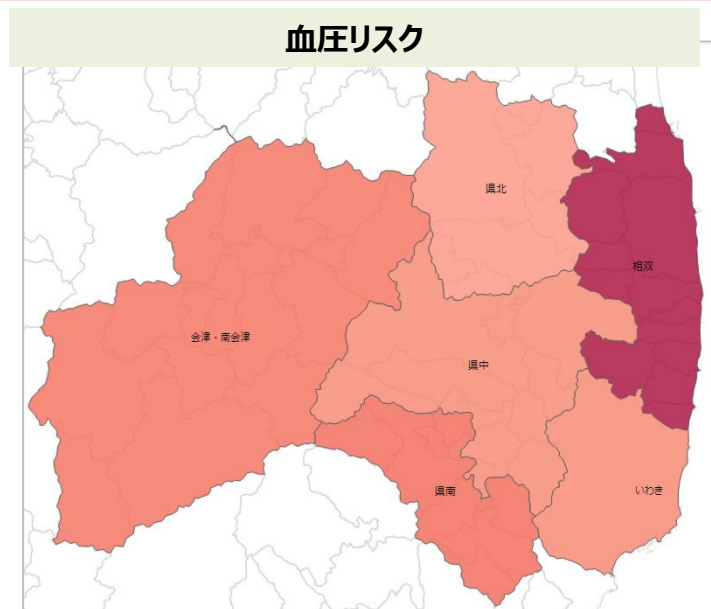


二次医療圏別 リスク保有率／生活習慣要改善者の割合（全国平均との乖離）

※男女計



※赤色が濃いほうが、全国平均との乖離が悪い方に大きいことを示す

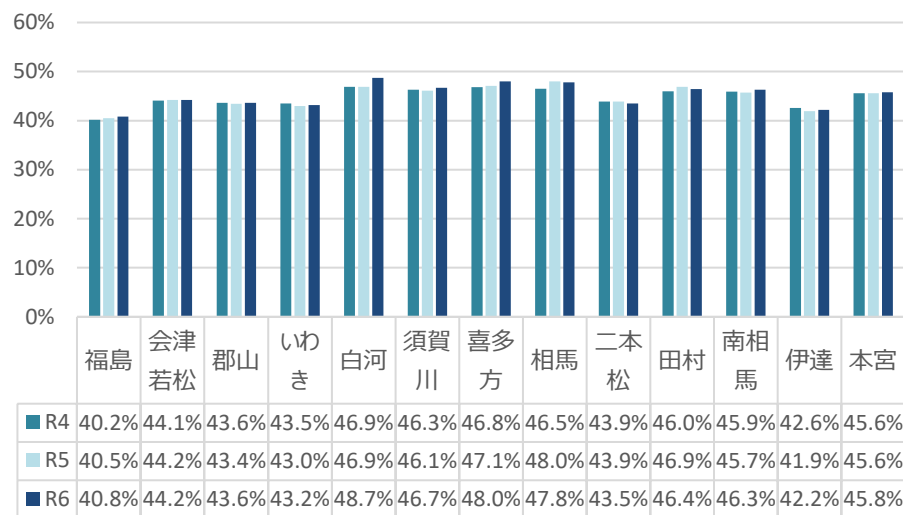


福島支部事業所（被保険者）の業態別 生活習慣病リスク／生活習慣

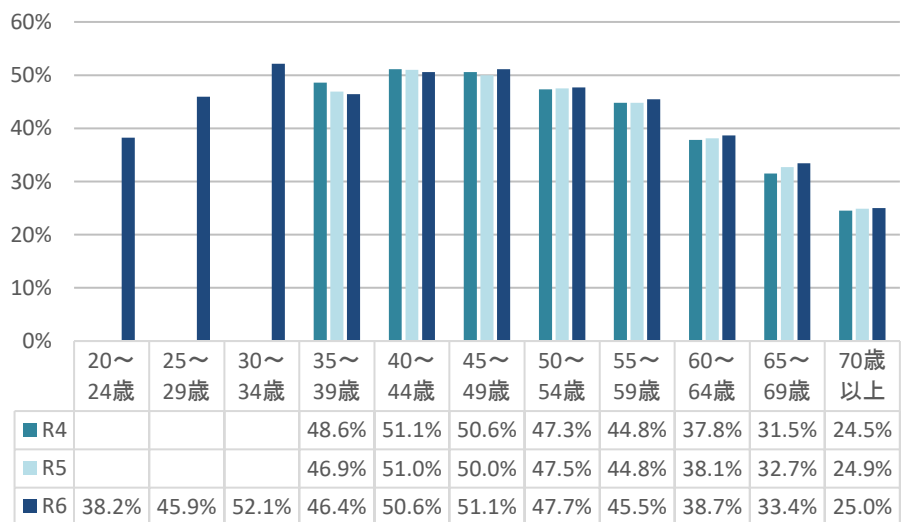
※被保険者1,000人以上の産業大分類別に集計。年齢調整なし。

ワースト	1位	2位	3位	4位	5位
血圧リスク	その他の運輸業	道路貨物運送業	その他の 対事業所サービス業	総合工事業	廃棄物処理業
	65.7%	64.9%	61.3%	61.0%	58.9%
脂質リスク	その他の運輸業	総合工事業	道路貨物運送業	情報通信業	設備工事業
	43.1%	40.5%	40.2%	37.3%	37.0%
メタボリックリスク	その他の運輸業	道路貨物運送業	総合工事業	職別工事業	その他の 対事業所サービス業
	32.3%	30.4%	27.8%	24.9%	24.3%
1回30分以上の軽く汗をかく 運動を週2日以上、1年以上 実施していない者の割合	繊維製品製造業	飲食料品小売業	職業紹介・労働者派遣業	医療業・保健衛生	機械器具製造業
	84.5%	83.4%	83.1%	83.1%	81.9%
日常生活において歩行又は同 等の身体活動を1日1時間以 上実施していない者の割合	金融・保険業	繊維製品製造業	政治・経済・文化団体	専門・技術サービス業	その他の運輸業
	77.2%	74.6%	72.6%	72.6%	72.3%
喫煙	道路貨物運送業	職別工事業	総合工事業	設備工事業	廃棄物処理業
	52.2%	50.3%	45.0%	43.9%	43.8%

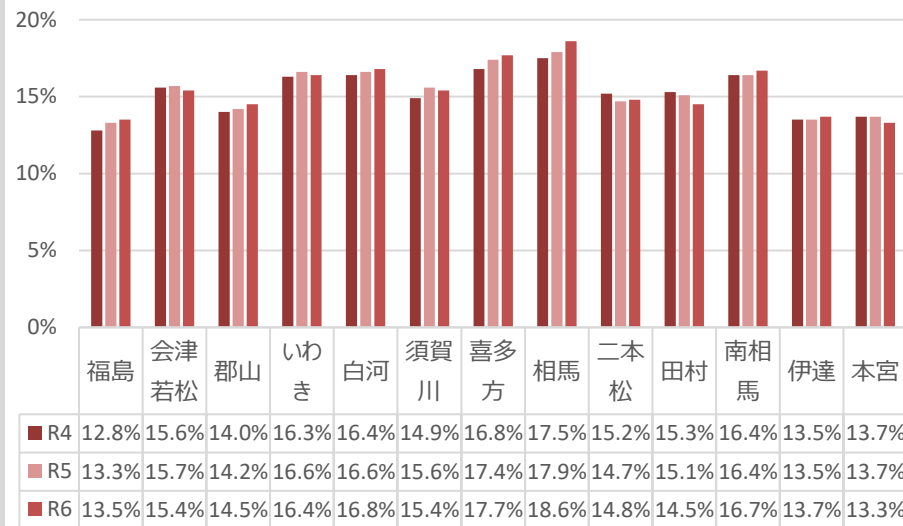
喫煙者の状況について



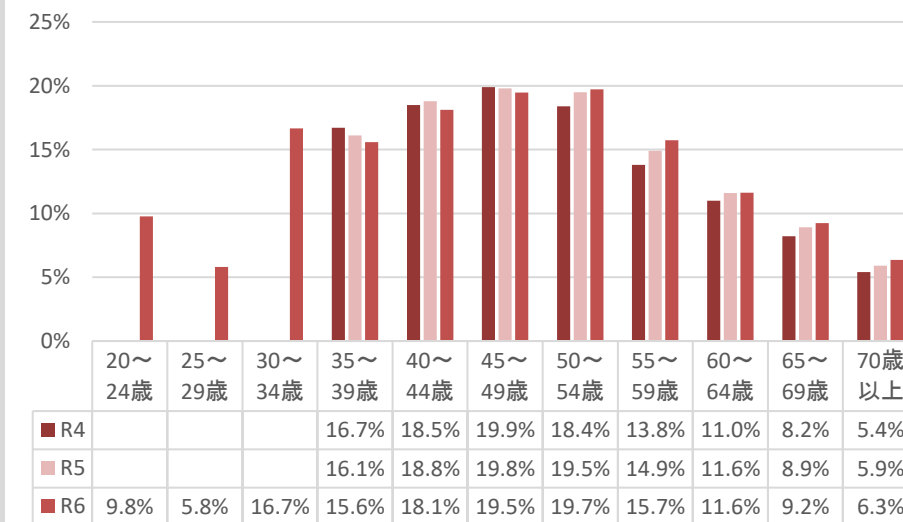
【男性】



県内13市別



【女性】



年齢階級別

※35歳未満（生活習慣病予防健診受診者を除く）の健診データの取得は、令和6年度開始

●保健事業の実施状況

●被保険者

●被保険者		(単位：％)	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
健診受診率（A+B）		全国	62.1	65.2	64.8	65.5
		福島	69.3	71.3	72.2	70.4
		全国との差	+7.2	+6.1	+7.4	+4.9
	A:生活習慣病予防健診 （40～74歳）	全国	53.6	56.4	57.7	58.4
		福島	61.1	63.5	65.4	62.5
		全国との差	+7.5	+7.1	+7.7	+4.2
	B:事業者健診	全国	8.5	8.8	7.1	7.2
		福島	8.2	7.7	6.9	7.9
		全国との差	−0.3	−1.1	−0.2	+0.7
特定保健指導 （初回面談）		全国	22.5	23.4	26.0	26.7
		福島	32.6	33.1	33.2	32.1
		全国との差	+10.1	+9.7	+7.2	+5.4

●被扶養者

(単位：％)		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
特定健診	全国	26.2	27.7	28.3	29.4
	福島	26.9	27.7	27.4	29.3
	全国との差	+0.7	±0.0	-0.9	-0.1
特定保健指導 (初回面談)	全国	16.0	18.0	18.7	19.8
	福島	5.9	9.9	13.0	10.1
	全国との差	-10.1	-8.1	-5.7	-9.7

●福島支部の課題

課題①

医療費

◎一人当たり医療費は全国平均を下回るものの、課題②生活習慣病リスクと関連する医療費は全国平均を上回っている。

- ・疾病大分類別一人当たり医療費 「内分泌、栄養及び代謝疾患」（入院外）および「循環器系の疾患」（入院外）が高い傾向

課題②

生活習慣病 リスク

◎健診リスクでは殆どのリスク保有率が全国平均を上回るが、特に「メタボリックシンドローム」、「血压」、「脂質」が特に高い。

- ・二次医療圏別リスク保有率 「相双」が他の地域に比べて高い傾向
- ・業態別リスク保有率 「運輸業」、「建設業」が他の業態に比べて高い傾向

課題③

生活習慣

◎「喫煙率」が全国平均を大きく上回る。

- ・二次医療圏別喫煙率 「県南」、「相双」が高い傾向
- ・市別喫煙率（県内13市） 「白河市」、「相馬市」、「喜多方市」が高い傾向
- ・性別／年代別 喫煙率 男女とも35～59歳が高い傾向。
また、令和6年度は35歳未満も高い（35歳未満の健診データ収録は、令和6年度～）

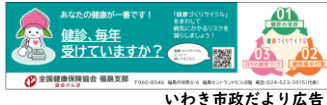
課題④

保健事業

◎被扶養者の特定健診受診率、特定保健指導実施率が全国平均よりも低い。

- ・市別受診率（県内13市） 「いわき市」、「南相馬市」が低い傾向

●令和7年度の主な取り組み（保険者機能強化予算に関するもの）

No.	区分	前年度からの継続	事業名／事業概要	実施状況	令和8年度継続の検討						
1	広報全般	継続	【紙媒体による広報】 日本年金機構から毎月、全事業所宛に送付される郵送物にチラシを同封	通年	○						
2		継続	【新聞等を活用した広報】 地方新聞の記事下広告および商工会議所会報誌（県内6か所）へのチラシ折込 新規 情報誌への広告掲載	新聞5・11月 会報誌7月 CJMonm6月	○						
3		継続	【LINE公式アカウントを活用した情報配信】 健診・指導の日程を中心に、健康レシピやマイナ保険証などの情報を配信	月2回配信	○						
4		継続	【課題に関するビジョン広告およびWeb広告の実施】 ポピュレーションアプローチとして、地域の課題に合わせたビジョン広告およびWeb広告を行う。 <table><tr><td>禁煙、受動喫煙防止</td><td>郡山駅前でのビジョン広告／ 県中地域Web広告（バナー広告、Tver CM、Youtube CM） 新規 郡山テアトルでのシネアド（映画館 上映前の動画広告）</td></tr><tr><td>特定健診（がん検診）受診勧奨</td><td>いわき駅前でのビジョン広告／いわき地域Web広告（バナー広告、Tver CM、Youtube CM） 新規 ポレボレシネマズいわき小名浜でのシネアド（映画館 上映前の動画広告）</td></tr><tr><td>ジェネリック医薬品の使用促進</td><td></td></tr></table>	禁煙、受動喫煙防止	郡山駅前でのビジョン広告／ 県中地域Web広告（バナー広告、Tver CM、Youtube CM） 新規 郡山テアトルでのシネアド（映画館 上映前の動画広告）	特定健診（がん検診）受診勧奨	いわき駅前でのビジョン広告／いわき地域Web広告（バナー広告、Tver CM、Youtube CM） 新規 ポレボレシネマズいわき小名浜でのシネアド（映画館 上映前の動画広告）	ジェネリック医薬品の使用促進		10月～放映・配信開始	○ （一部変更）
禁煙、受動喫煙防止		郡山駅前でのビジョン広告／ 県中地域Web広告（バナー広告、Tver CM、Youtube CM） 新規 郡山テアトルでのシネアド（映画館 上映前の動画広告）									
特定健診（がん検診）受診勧奨	いわき駅前でのビジョン広告／いわき地域Web広告（バナー広告、Tver CM、Youtube CM） 新規 ポレボレシネマズいわき小名浜でのシネアド（映画館 上映前の動画広告）										
ジェネリック医薬品の使用促進											
5	新規	【地域における健診リスク、特定健診受診に関する広報の実施】 リスクが高い地域の市政だよりを活用した広報の実施	 南相馬市 封筒広告 福島県広誌広告 6月 いわき市政だより広告 7月	○							
6		継続	【小規模事業所加入者への個別案内】 生活習慣病予防健診受診率が低い小規模事業所勤務者へ個別案内を送付	上期・下期に分け発送 7月発送 22,278件	○						
8	特定健診受診率の向上	継続	【被保険者 協会主催の集団健診の開催】 生活習慣病予防健診実施機関の少ない県南・相双地区での集団健診の開催（DM作成／会場使用料）	全15回 （8月時点） 7会場330名受診	○						
9		継続	【被保険者 事業者健診結果の取得】 外部委託による事業所へのデータ提供勧奨および健診結果(紙媒体)のデータ化	通年実施	○						
10		継続	【被扶養者 協会主催の集団健診の開催】 福島支部主催の受診者負担のない「0（ゼロ）円健診」の開催 （新規）オプション検査の導入（眼底検査・骨粗しょう症検査）	全12市町村 54回開催予定 （8月末時点） 6市町村18回開催 1,238名受診	○ （一部変更）						

No.	区分	前年度からの継続	事業名／事業概要	実施状況	令和8年度継続の検討
11	保健指導実施率の向上・指導対象者の減少	継続	【保健指導対象者の自発的な取り組みを促す情報発信】 健診受診を契機に節制を促すため指導基準間際の者へ前年受診日を参考にDM送付 	通年実施 (8月時点) 1,993件	○ (一部変更)
12		新規	【健診日同日の保健指導の推進】 保健指導実施契約がない健診機関において、外部委託による遠隔面談を健診日当日に実施	実施なし (計画していた健診機関において保健師採用。自営で保健指導開始。)	○
13	重症化予防	継続	【糖尿病性腎症患者の重症化予防対策】 外部委託により、福島県が作成した「福島県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づく、下記を実施。 ①未治療者に対する受診勧奨及び保健指導 ②CKDの可能性のある者に対する受診勧奨 	①通知発送406件 ②通知発送345件	○
14		継続	【未治療者に対する受診勧奨】 医療機関の早期受診を促すチラシを作成し、健診機関による健診結果に同封	健診機関(6月送付済)	○
15		新規	【外部委託を活用した受診勧奨】 医療機関を受診を促す一次勧奨を本部発送後、回答がない者に対し、支部でDMを作成し二次勧奨を実施。	(8月時点) 5,654件勧奨	○
16		継続	【健診当日の医療職による受診勧奨】 健診当日に医療職より医療機関への受診を促し、受診状況を福島支部に報告するハガキを手渡し	通年実施 (9月時点) 1,006件勧奨	○
17	医療費適正化	継続	【禁煙セミナー】 支部の課題である喫煙に関するオンラインでセミナーを実施 	12/4オンラインセミナー開催予定 申込受付中	○ (一部変更)
18		新規	【オーダーメイド型の個人宛て禁煙勧奨通知および事業所宛て禁煙取組勧奨通知】 ・個人宛：喫煙者へ疾病発症確率や血管年齢を記載した個別性の高いDMを送付し、行動変容を促す ・事業所宛：喫煙率が高い事業所へ禁煙対策の紹介と禁煙セミナーの開催をお知らせするDMを送付。 	個人宛2～3月発送予定 事業所宛11月発送予定	× 令和8年度は効果検証を実施

No.	区分	前年度からの継続	事業名／事業概要	実施状況	令和8年度継続の検討
19	医療費適正化	新規	【尿中塩分測定実施を契機とした減塩に対する意識向上】 減塩への意識付けとして、福島県が実施する尿中塩分測定やFDBを活用し、健康宣言事業所を対象に、減塩だけでなくカリウム摂取を意識した啓発事業を実施	準備：10～12月 発送：1月 アンケート回収：2月 評価・まとめ：3月	○
20	健康宣言 (フォローアップ)	継続	【情報提供】 機関誌の発行（年3回） 事業所ごとの健康課題をまとめた事業所健康度レポートの送付 「ふくしま健康経営優良事業所」表彰事業所の取材・取組事例の作成、機関誌へ掲載し宣言事業所へ好事例紹介	機関誌 年3回 レポート発送 年1回 取組事例 3社	○
21		継続	【宣言事業所数の拡大】 勸奨に使用する送付物の作成および外部委託による電話勸奨	7月開始 (9月時点) 文書勸奨1,075件 電話勸奨543件	○
22		継続	【取組支援】 出前講座の実施、健康度測定器（骨健康度測定器150台、野菜接種度測定器50台）の貸出	出前講座 通年実施 健康度測定器の貸出 7月～翌年3月	○ (一部変更)
23		継続	【認定制度 運営】 福島県と共同で実施しているふくしま健康経営優良事業所の認定に向けたWebアンケートの実施	アンケート5～7月実施 認定12月頃	○
24		新規	【健康づくりヒント集の作成】 事業所での健康づくりに役立つヒント集の作成	3月納品に向け、 調達準備中	× 令和7年度に 今後複数年度使用 分を一括調達
25	その他 保健事業	継続	【小学校における健康教室】 対面授業のほか、長期休暇前に正しい生活習慣をまとめたチラシの配布を行う。 新規 昼休みの活用を想定した動画の作成	対面授業 2校実施済 (残り5校実施予定) チラシ配布 冬休み前 いわき市・南相馬市予定	○
26		新規	【地域・年齢を絞った保険証カバー活用による医療費適正化の推進】 上手な医療のかかり方に関する内容をプリントした保険証カバーを作成。 (マイナ保険証、子ども医療費受給者証、診察券等を一体収納)	12月以降、いわき市 薬剤師会の協力のもと 配布開始予定	× 新規事業のため、 R8は効果検証 実施予定

令和8年度に向け、検討している内容について

1 健康課題の解消に向けた事業の検討

これまでの取り組み	新たに検討している内容
出前講座 / 健康度測定器の貸し出し 各種広告やダイレクトメールを用いた意識啓発 セミナーの実施（R5.6メンタルヘルス、R7禁煙） 尿中塩分測定	健康度測定器の種類見直し・貸出台数の増加。 セミナー内容の見直し（座学と運動に関する内容の同時実施）。 「排塩」に関する啓発とアンケート調査。

2 喫煙率低下へつながる事業の検討

これまでの取り組み	新たに検討している内容
禁煙通知（個人宛・事業所宛て） 禁煙セミナー 禁煙意識啓蒙 新聞広告掲載 郡山駅でのビジョン広告 / 県中地域でのWeb広告 出前講座（2講座）	申込講座に関わらず、出前講座の冒頭にて喫煙を含む健康課題動画の視聴を必須とする。 トップの所信表明の後押しとして、雛形の提供。

3 被扶養者の受診率向上に向けた事業の検討

これまでの取り組み	新たに検討事項
支部主催の自己負担が生じない健診の実施（出張ゼロ円健診） 出張ゼロ円健診にオプション健診（眼底検査／骨粗しょう症検査）の追加 市町村が実施するがん検診との同時受診の推進 いわき駅でのビジョン広告 / いわき地域でのWeb広告	魅力的な簡易測定（肌年齢・ストレスチェック等）を出張ゼロ円健診に追加。 メリット（早期発見、健康状態把握）、手軽さ（時間や場所の敷居を下げる）、 コスト面（ゼロ円）等、多角的な広報の検討。

福島支部の課題解消に向け、ぜひご意見をお願いします。

